データ抽出：医療情報
コメント作成：形成外科

乳房再建率

目的

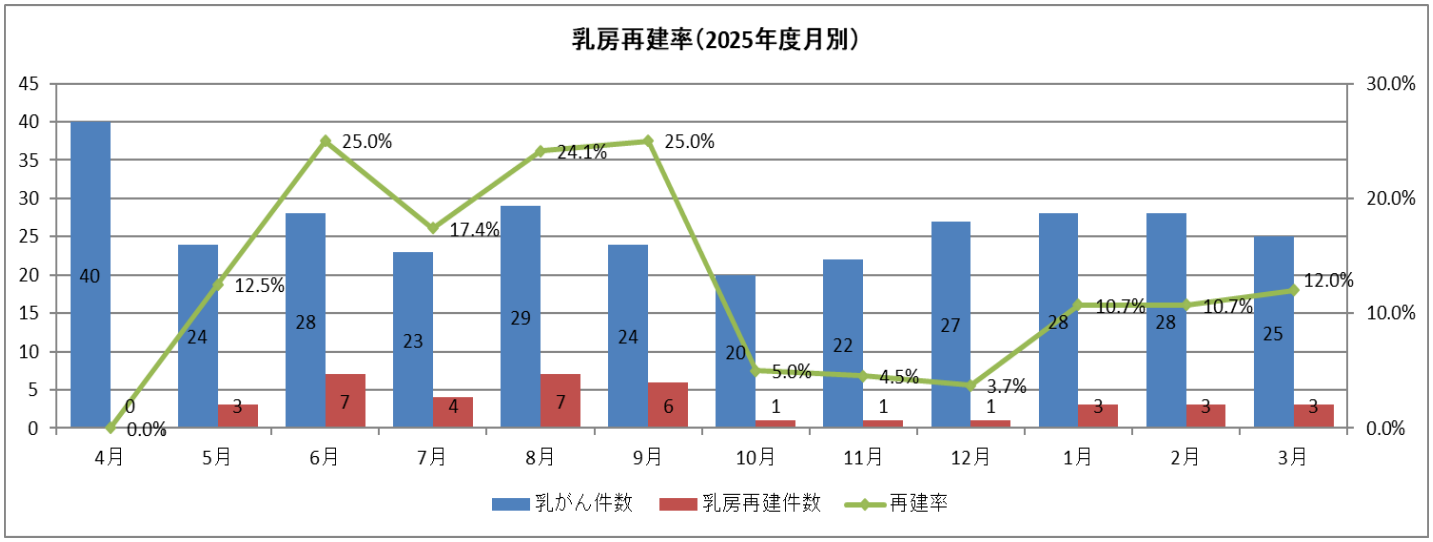
臨床指標、学会の指標との比較

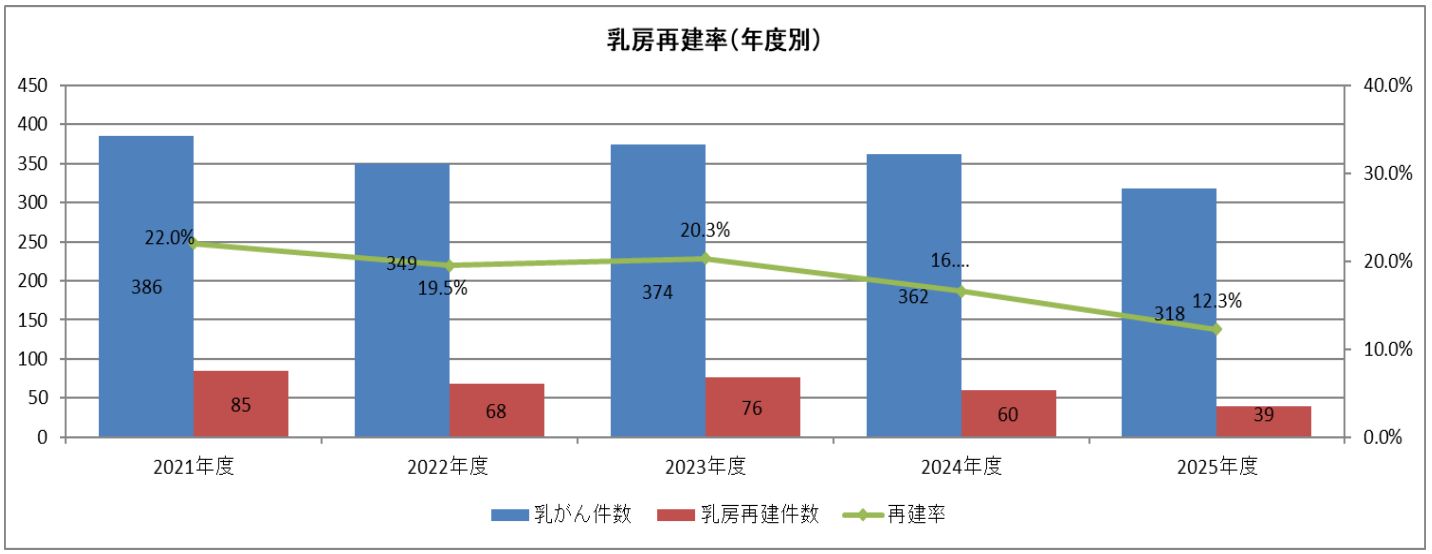
分母

乳がんに対し切除術などの手術を施行した患者

分子

分母患者のうち乳房再建術（インプラント、組織拡張器の挿入を含む）を施行した患者





データ抽出内容

医療情報DBより抽出
分母：乳がんICDコード…C50*、D05*、Z42.1
分子：ICDコード…Z42.1

データ分析コメント

当院形成外科では、以前から乳腺内分泌外科と連携し、積極的に乳房再建術に取り組んでいます。当院では自家組織再建（腹部・背部・大腿の皮弁を用いる）もしくは人工物のシリコンインプラントによる再建を安全に行える体制が整っている施設で、それぞれの特徴を説明したうえで、患者さんと医師が共同で方向性を決めていくことを重視しております（シェアード・ディシジョン・メイキング）。日本の平均再建率は13%で、地域差が大きく、都心で高く、地方では低い傾向にあります。2025年度の当院の乳房再建率は、神奈川県の平均と同程度でした。先進国の中（米国や韓国は40-50%）と比べると、日本は低水準で、乳房再建をより普及させる努力が患者さんのwell-beingに資すると思われます。